



交通死亡事故多発

反射材を身に着けよう



～今日も無事でいてほしい～
みんなで作ろう安全・安心なまち
セーフコミュニティ十和田

問まちづくり支援課 ☎ 6777

今年、十和田警察署管内（十和田市、六戸町）では、相次いで交通死亡事故が発生しています。10月7日には、歩行者が車にはねられる交通死亡事故が発生しました。この事故で死亡者数は5人となり、10月末現在で青森県内ワースト1位の状況となっています。

これからの季節は、日が暮れるのも早くなります。歩行者や自転車の運転者は反射材などを身に着け自分の存在を周囲に知らせましょう。また、自動車の運転者はライトの早め点灯を心掛けましょう。

◆令和2年交通死亡事故のデータ

(十和田警察署管内10月末現在)

場所	事故の状況	時間帯
大沢田字牛鍵	車両単独	3月31日午後1時ころ
六戸町大字犬落瀬	車両単独	5月2日午後9時ころ
六戸町大字折茂	車両単独	6月21日午前5時ころ
奥瀬尻辺山 (奥入瀬バイパス)	車両単独	9月20日午後1時ころ
三本木字一本木沢	人対車両	10月7日午後7時ころ

交通安全に取り組む十和田警察署からのメッセージ



十和田警察署
キャラクター
「駒くん」

死亡事故は、夜間に多く発生しています。歩行者は反射材の利用を、ドライバーは歩行者を早く発見できるように原則上向きライトでの運転を心掛けましょう。

また、十和田警察署管内の事故では、シートベルトを着用せずに後部席に乗車していたことで、2人の方が車外に投げ出されて亡くなっています。後部席に乗車するときも忘れずにシートベルトを着用しましょう。

十和田警察署交通課 宇部 尚幸 課長

暗くなったら自分の存在をアピール!!

夜間の外出時には、明るく目立つ色の衣服を着たり、靴・かばん・衣服などに反射材を利用し、自分の存在をアピールしましょう。

運転手から見た歩行者の視認性
※車のヘッドライトを下向きにしたとき

反射材を身に着けている場合 **57m**

反射材を身に着けていない場合 **26m**

反射材なし



ほとんど見えない...

反射材あり



ハッキリ見える!!

横断歩道は歩行者優先!! 歩行者が見えたら減速、停止!!



横断歩道を知らせる
標識・マーク



横断中や横断しようとしている歩行者がいるとき、車両は横断歩道の手前で停止しなければなりません。

ルールを守らないと「横断歩行者等妨害等」の交通違反になります。

罰則	3カ月以下の懲役または5万円以下の罰金
違反点	2点
反則金	大型・中型・準中型・・・12,000円
	普通・・・9,000円
	二輪・・・7,000円
	原付・・・6,000円